

西高通信

沖繩県立西原高等学校
 校長 儀間 昌子
 西原町字翁長 六一〇
 電話 945-15418

太田さん「入学の誓い」

県立西原高等学校の第四十三回入学式が四月七日(金)午後、本校体育館で行われ、会場を埋め尽くし、ご家族、関係者が見守る中、新入生三〇名が西原高校として、新たな夢に向かって、切り返し、午前中、また、午前中、式には、一学期始業式が行

第四十三回 入学式で新入生 三百二十人

午前は就任式・一学期始業式

われ、二十五人の新任職員がそれぞれの抱負を述べた。始業式では校長より「部活動があるから勉強がでないのではなく、部活動があるからこそ勉強に打ち込

『宝物のような高校時代』をこの西原の地で

『西高通信』の発行に寄せて

校長 儀間 昌子

平成二十九年度定期人事異動でここ西原高校に赴任、勤務一週間経過し、西原高校の生徒たちのために懸命に頑張る先生方の姿を目の当たりにしてきました。また、生徒も素直で明るく、活発でこのような素晴らしい生徒たちを埋もれさせてはいけません。責任の重さを強く感じていきます。

挑戦し続ける学校生活を私は、「学校は楽しい所夢を叶えるところではない」と思っています。それは、勉強や部活動をとおして、分かできなかったことが分かる、できないことが出来る、仲間と切磋琢磨し心身を鍛える、悩みながら、苦悶しながら、夢をみつけ実現に向かって懸命に頑張ること

の楽しさであり、それを実現したときの喜びです。そして、いつか大人になって、高校時代をふと振り返るとき、「宝物のような高校時代」であったと、そう実感できるような学校生活を送っていただきたいと思っています。一人ひとりの夢実現・成就に向けての大応援団長となつて参りたいと思います。

める。成績を上げるためには部活が必要である。という考え方も、文武両道の本質ではないかと考えます。との挨拶があり、平成二十九年度の学校生活が始まりました。

「新入生代表挨拶」

新入生を代表して、あいさつに立った太田 華さん(一年四組 西原中出身)は「今日から始まる三年間の高校生活で個性や長所を更に磨いて成長できるように

に授業や学校生活、放課後の部活動などを精一杯がんばります。また、地域の行事などにも参加して、様々な経験と知識を身に付けて、無限の可能性を広げていきたいと考えています。」と、さわやかに力強く「入学生代表挨拶」を述べた。

PTA入会式

式典後、生徒たちが各HRクラスへ移動している間にPTA入会式が行われた。仲西春雅会長は「PTA活動を通して、是非、学校へ足を運んで頂きたい。楽しく活動していきましよう」とPTA活動への積極的な協力を呼びかけた。



